

ITCA表彰【地域支援】

埼玉県でいちばん小さな商工会が「21世紀商工会グランプリ」に!~ 小さな商工会をマルっと支援してきたITCの9年間~

2024年11月

株式会社プロッシモコンサルティング 代表取締役 長戸美樹

目 次

- 1. 自己紹介
- 2. 本支援のポイント
- 3. 本日のセミナーのお話の前提となる基礎知識
- 4. 南河原商工会の今昔物語
- 5. 専門家による南河原商工会への伴走支援
- 6. なぜ私が南河原商工会への伴走支援ができるのか?
 - + 今後の展望



1. 自己紹介 長戸 美樹

経済産業省推進資格 ITコーディネータ 中小企業診断士、事業承継士、共通EDIサポータ

株式会社プロッシモコンサルティング 代表取締役(2023年11月法人化) 埼玉県DX推進支援ネットワーク委員 日本商工会議所ならびに埼玉県内支援機関(埼玉県中小企業団体中央会・ 埼玉県商工会連合会・南河原商工会 等) 登録専門家



京都府京都市出身、東京都世田谷区在住。

総合商社・輸入雑貨小売業・アパレルを経て、2002年1月に 経営コンサルタントとして独立開業。 2001年中小企業診断士登録、2002年ITコーディネータ登録。2023年法人化。 IT/DXの機運醸成・身の丈活用をテーマにして、日本全国でセミナーや コンサルティングに取り組み、「経営とITの橋渡し」を実践している。

特に今年度は、経営指導員向け「DX支援時の伴走支援の在り方」のテーマでの出講が多く、日本各地の商工会議所・県庁(DX担当部署)からのお声掛けに対応している。

2. 本日のセミナーのお話の前提となる基礎知識

南河原商工会のある行田市は埼玉県県北で 川を渡ると群馬県

埼玉県は商工会議所が少なく、**商工会が数多く存在** * これでも市町村合併で、数は減った

本日の事例は、 「日本全国の、人口の少ない町村」 「地場産業が衰退してしまった市町村| で活動するITCにこそ聞いていただきたい!



3. 南河原商工会の今昔物語(1)

昔は・・・

- ① 行田市に合併されたものの、地場産業として知名度の高い「足袋」を保有する
- ② 地場産業のスリッパは、かつては日本全体の売上の2/3を占めるほどの活況。 だが外国産の安いスリッパに押されて、 現在 スリッパ産地は国内3か所のみ(山形、埼玉、高知)である。 南河原商工会地区でも、スリッパ事業者は4者となってしまった。

だんだんと・・・

- ① 商工会内スリッパ事業者は4者だが、近隣の熊谷市・春日部市等の 県内スリッパ事業者と連携し、スリッパ生産能力を向上。
- ② ギフトショーに出展し、百貨店や小売店等のバイヤーがその価値を認めて買い付けてくれた。 2019年から6年連続、コロナ禍でも出展を続けた。



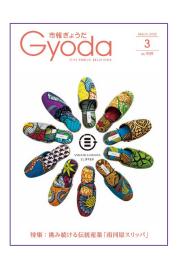
3. 南河原商工会の今昔物語(2)

だんだんと・・・

- ③ 行田市郷土博物館が「足元から紐解く生活史」という企画展で、足袋と一緒にスリッパを展示してくれた(令和3年10月)
- ④ 令和4年2月、地域団体商標登録「南河原スリッパ」が認められた。 **商標登録者は「南河原商工会**」である。
- ④ 市役所にもスリッパ問い合わせがどんどん入るようになり、令和4年3月号の行田市報で **特集:挑み続ける伝統産業「南河原スリッパ**」を掲載した。







3. 南河原商工会の今昔物語(3)

今は・・・

① カラフルで希少性の高いシリーズ、埼玉県内地場産業とコラボしたシリーズ等 新商品を毎年打ち出している。この開発費用は「**経営発達支援計画」の伴走支援**や、 **埼玉県の重点テーマ支援** の予算から獲得している補助金である。





3. 南河原商工会の今昔物語(5)

今は・・・

② 令和3年11月に「中小企業庁長官賞」、 令和4年11月に「21世紀全国商工会グランプリ」受賞 名実ともに日本一の商工会として認められる。

「地場産業の復興に顕著な実績」 「全国商工会の見本となる」







3. 南河原商工会の今昔物語(6)

今は・・・

③ 令和6年1月、NHK「あさイチ」で取材される スリッパ事業者様から「**商工会の佐野さんの熱い 思いが伝わりまして、製造に発展…**」 と言ってもらえる。







4. 専門家による南河原商工会への伴走支援(1)

【商工会としての事業計画策定+補助金獲得】

- ① 5年に一度の「経営発達支援計画」策定
- ② 「経営発達支援計画」を実践するための毎年の「伴走型支援計画」策定と補助金予算どり
- ③ 埼玉県の重点テーマ型支援の計画策定と予算取り
- ④ プレゼン資料等の作成 ⑤商工会サイトのWebマスター など

【商工会会員企業への支援】

- ① 経営革新計画策定とフォローアップ
- ② 国や県・市の補助金申請支援とフォローアップ
- ③ ITやSDGsなど、テーマ別セミナー
- ④ 事業者様のIT活用支援(SNS活用などビジネスレベルアップ)
- ⑤ ものづくり補助金や事業再構築補助金などの金額の大きい補助金申請支援
- ⑥ 創業支援(ビジネスプラン作成等)
 - * 忘年会、新年会、総会後の懇親会、秋の「商工まつり」はリアル参加。



4. 専門家による南河原商工会への伴走支援(2)

【南河原スリッパ支援】

- ① 毎年の新商品開発支援(テーマ、サンプル作成、協力事業者選定 など)
- ② 展示会出展に関する全面的なフォロー(カタログ、新商品、陳列、搬入&搬出、展示会接客等)
- ③ バイヤーとの商談同席 ④ 新取引開始時の掛率交渉、契約書内容チェック
- ⑤ スリッパデザイナーや埼玉県関係者等といっしょに「スリッパ検討会議」に参加
- ⑥ 取材対応、地元新聞社の記者さんとの食事… ⑦ECサイトの整備
- ⑧ 南河原スリッパデジタル博物館の設立等「地場産業×IT活用」への支援







5. なぜ私が南河原商工会への伴走支援ができるのか?(1)

- ① 私自身が経営者の子どもであり、経営に慣れ親しんでいる<栄枯盛衰を父の背中で学んだ> 創業一族ではないが社長に抜擢され、社長就任披露・上場記念パーティが催される しかし会社が赤字になり責任をとって副社長に降格 その後会社が傾き、会社更生法による倒産となるが父は役員から外れて会社に残る 取引先への取引続行依頼、スポンサー探し、顧問弁護士との打ち合わせ等父が担う スポンサーがついて会社が安定したのち完全引退
- ② **商社・小売・製造(アパレル自社工場あり)の3つの会社勤務経験&職種経験がある** 国内・輸入・輸出業務に関わり、たいていの業態には理解がある ブランドビジネス・ライセンスビジネス経験あり、業務契約に強い アパレル店舗運営経験あり、売上利益向上・顧客満足度向上に強い 秘書経験があり、会社の経営者がどんな業務をしているかがわかる
- ③ 独立後も、視野を広げるために努力している 事業承継士の資格を取り、経験+知識を装備している ITCの全国の仲間と交流し、様々な視点の意見を取り入れるようにしている



5. なぜ私が南河原商工会への伴走支援ができるのか?(2)

- ④ 狭い世界に閉じこもらないようにしている 「自分は凄い」と思ったら最後、素直で前向きな人でないと時代に置いていかれる 人口減少のおり、狭い商圏で生き残れる企業はない
- ⑤ IT・Web・DXの切り口は大切、でも振りかざさない 小規模事業者の皆さんと話す時は、まず事業ありきで! 理解できない用語を話されるほど、辛いことはない。
- ⑥ いちばん大切なことは「事業者様、商工会職員の自尊心と情熱」を鼓舞すること!

コンサルタントは「黒子(くろこ)」であり、自分だけ頑張っても絶対にダメ 事業者様が腹落ちして、自分の足で歩めるように伴走支援していく

一緒に喜びも悲しみも苦労もわかちあえる関係に、事業者&支援者でもなれる!

5-3. 今後の展望(3)

「伝統産業の灯火を未来へ残すために」

- ① 地域の行政(県庁、市役所等)とのさらなる連携:行田市役所との地域連携「足袋の行田、スリッパの南河原」
- ② **地域の一般市民・事業者**とのさらなる協力体制
- ③ 次世代の担い手の発掘、後継者に繋げる
- ④ 伝統と未来の融合:南河原スリッパのオンライン上アーカイブ&

毎年の積極的な新商品開発

◎ 南河原スリッパの知名度向上・売上向上が**地域活性化の呼び水**となる 「**南河原地区全体の活性化**」こそが商工会がめざすべきところである



2023年2月 **地域団体商標**登録 「**南河原スリッパ**」

小規模商工会でも挑戦することによって道は拓ける!



ITCも、挑戦してこそ道は拓ける!

ご清聴ありがとうございました

